

事業番号	15 08 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	社会教育の振興のための事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	生涯学習課	
		実施期間	S24 ~	E-mail	shogai @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・信州型コミュニティスクール（CS）において、学校運営参画、地域学校協働活動、学校評価を一体的に進める学校と地域の会議体の導入はなされているが、地域と学校の目的や目標の共有には、学校ごとで差がみられる。
- ・放課後子ども教室等に係る支援員等が、配慮を要する子どもへの対応に苦慮している。
- ・公民館数は全国一だが、活動への若者や子育て世代の参画が乏しい。

2 事業目的

- ・「地域と共にある学校づくり」に向けて、学校と地域社会・保護者が教育の目的や目標を共有して、協働活動を一層促進できるようにする。
- ・研修等を通じ、生涯にわたって学び続け、主体的にまちづくりや協働活動に取り組もうとする県民の意識を高めていく。

3 事業目的を達成するための取組

- ①信州型CSの取組内容の充実に向けた支援**
- ・学校・地域の関係者の連携を促進するため、学社連携・協働意見交換会（県内8箇所）を開催する。
 - ・CSアドバイザーによる研修や訪問相談等を活用した好事例の収集及び情報発信。
- ②放課後子ども総合プランの推進**
- ・学校・家庭・地域が連携・協働し、社会全体で学校や子どもたちの成長を支えるために、放課後子ども教室及び地域未来塾を実施する市町村に対して運営費を補助。
 - ・コーディネーターや協働活動支援員、協働活動サポーター等の資質向上、情報交換・共有のために合同研修会を開催。
- ③地域づくりにつながる公民館活動を支援**
- ・公民館関係者の研修等や情報発信（生涯学習推進センター事業、公民館運営協議会委託事業）を通じ、公民館の活性化及び組織と活動の強化を支援。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	学校と学校関係者（地域、保護者、産業界等）が協議して教育目標を立てている学校の割合（公立小中学校分）	%	—	72.9	—	72.4	↘	74	未達成	1年間で4ポイントずつ上昇させ、5年間で90%以上を目指す。	
②	放課後子ども総合プラン合同研修会の参加者数	人	393	409	↗	386	↘	450	未達成	新型コロナウイルス感染症の感染症対策により参集型の研修が次第にできるようになってきたため、R元年度並の目標値とした。	
③	公民館に関わる県生涯学習推進センター開催講座で募集人数を満了した講座割合	%	53.3	45.0	↘	60.0	↗	55	達成	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になり、R4年度より参加しやすくなることを想定し、目標設定した。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
5-4①	学びの共創による地域づくりの推進と生涯を通じた多様な学びの創造	社会教育士の数	人	2021 (R3)	12	2022 (R4)	33	2023 (R5)	50	2027 (R9)	110

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	25,767	0	25,767	15,570	22,909	5.5
R4年度	0	27,007	0	27,007	17,455	22,282	5.5
R3年度	0	26,522	0	26,522	16,198	21,765	5.5

事業番号	15 08 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	社会教育の振興のための事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	生涯学習課

7 主な取組実績と成果

<p>①信州型CSの取組内容の充実に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学社連携・協働意見交換会、コーディネーター研修会を15ヶ所で開催、延べ参加人数986人。 ・CSアドバイザー派遣24ヶ所、延べ派遣人数30人。 ・CSあり方検討会を2回開催。コミュニティースクールの意義、課題について有識者による検討を行った。 <p>②放課後子ども総合プランの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室及び地域未来塾を実施する市町村に対して運営費を補助し、市町村の取組みを支援した。放課後子ども教室26市町村、地域未来塾18市町村。 ・放課後子ども総合プラン研修会を県下4地区で開催、参加人数386人 ・放課後子ども総合プランに関わるコーディネーターや協働活動支援員等の資質向上、情報交換・情報共有を図るための研修会を開催した。個別の対応が必要な児童とのかかわり方や児童理解を深めるための研修を行い、コーディネーターや協働活動支援員等の資質向上を図った。 <p>③地域づくりにつながる公民館活動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館長研修会、公民館主事研修会、公民館報関係者研修会、長野県公民館大会、公民館職員支援講座（4回）を実施し、公民館関係者の力量向上及び公民館活動の活性化を図った。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	学校と学校関係者（地域、保護者、産業界等）が協議して教育目標を立てている学校の割合（公立小中学校分）	R4年度推移	—	R5年度推移	↘	達成状況	未達成
学社連携・協働意見交換会、コーディネーター研修会及びCSアドバイザー派遣を実施し、学校と地域の関係者の連携促進を図ったが取組みの進捗度合いは学校や地域により濃淡があり、目標値に届かなかった。							
指標②	放課後子ども総合プラン合同研修会の参加者数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↘	達成状況	未達成
令和5年度はオンラインと現地参集のハイブリット形式により研修会を開催。オンライン参加者は昨年度同様だが現地参集での参加者人数は思っていたより増えず目標値に届かなかった。							
指標③	公民館に関わる県生涯学習推進センター開催講座で募集人数を満了した講座割合	R4年度推移	↘	R5年度推移	↗	達成状況	達成
23講座を設定し、メールや会議等で講座紹介をしながら募集をかけた。新型コロナウイルス感染症の位置付けが引き下げられ、講座に参加しやすい環境が整ったこともあり目標値を達成。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・信州型CSの取組については、学校運営参画を進めるための具体的な課題の洗い出しとそれに対する推進策の検討が必要。 ・公民館活動に関わる講座については、チラシ配布や関係機関へのメール、会議等での講座紹介を積極的に行いながら、参加者を募ってきたが募集人員を満了した講座数を大幅に増やすことができなかった。講座内容等の工夫が必要である。 ・放課後児童対策については、今後児童クラブとの一層の連携が求められることから、各市町村の児童クラブ担当課の協力を得ながら関係者への参加を呼びかける必要がある。また、放課後の業務に配慮した開催方法の検討が必要である。
(2) 事業改善の方策
<ul style="list-style-type: none"> ・信州型CSの促進については、各学校を対象にアンケートを行い状況や課題の把握に努める。 ・公民館活動に関わる講座については、参加したくなるような講座内容（講座名・講師・会場など）や日時等の工夫を図り、参加者増に努めていく。 ・放課後子ども合同研修会については、他地区の研修にも参加していただくことができるようオンラインとの併用開催を基本とし、子ども・家庭課と連携して周知を図る。また、参加者のニーズに応えられるよう多方面の分野から講師を依頼し、複数会場への参加も推奨しながら、研修の充実を図る。

事業番号	15 08 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	社会教育の振興のための事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	生涯学習課

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	学校と地域の連携推進事業費		17,702 千円	17,926 千円	19,552 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州型コミュニティスクール促進事業	直接	学校と地域の幅広い連携協働を促進するため、学社連携・協働意見交換会、コーディネーター研修会等の開催や信州型CSアドバイザーの派遣を行った。 アドバイザー派遣24回、コーディネーター研修会8箇所、学社連携意見交換会7箇所、CSあり方検討会2回		
2	放課後等体験・学習支援事業（放課後子ども教室、地域未来塾に対する補助金）	補助金	・放課後等に子どもたちの安全・安心な居場所（放課後子ども教室）を設け、子どもたちと地域住民との交流活動等に取り組む市町村を支援した。 ・地域コーディネーターが核となって、地域住民の協力による学習支援（地域未来塾）を実施する市町村を支援した。 放課後子ども教室 26市町村74教室12,976千円、 地域未来塾 18市町村47教室4,279千円		
3	放課後等体験・学習支援事業（放課後子どもプラン推進委員会の開催、協働活動支援員等の研修会の開催）	直接	総合的な放課後対策事業（放課後子ども総合プラン）を推進するために、コーディネーターや協働活動支援員、協働活動サポーター、児童クラブ指導員等の資質向上、情報交換・情報共有のため、委員会及び研修会を開催した。 放課後子ども総合プラン推進委員会開催1回、合同研修会の開催4回		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	生涯学習振興費		709 千円	569 千円	284 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	社会教育委員会議の開催	直接	県内の社会教育の現状を把握し、県の社会教育振興に関する意見聴取や意見交換を行うため、委員会を開催した。 社会教育委員会議開催 1回		
2	P T A 指導者研修事業	直接	P T A 役員等を対象に、資質の向上及びP T A 活動の振興を図るため、P T A 活動に関する研修を実施した。 研修会開催 義務7回、高校4回		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	生涯学習総務費		3,354 千円	3,787 千円	3,073 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	公民館運営事業の支援	委託	県内公民館関係者の力量向上、公民館活動の活性化及び公民館の組織強化のための事業を公民館運営協議会に委託し研修会等を実施した。 公民館長研修会・公民館主事研修会・公民館報研修会・長野県公民館大会各年1回、公民館支援講座4回		